

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	ディグ・スマイル・高崎南教室		
○保護者評価実施期間	2024年 7月 29日		2024年 8月 20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	28	(回答者数) 14
○従業者評価実施期間	2024年 7月 29日		2024年 8月 10日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 8
○事業者向け自己評価表作成日	2024年 8月 27日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	さまざまな活動プログラムを提供することが出来ている。	長期休み中は日替わりでイベント開催しており、活動プログラムやイベント内容を事前に把握できるようにプログラムカレンダーの作成、配布を行っています。また、ご利用者様の特徴にあった活動を提供できるよう話し合っその日ごとにプログラムを決めています。	社会スキル、生活スキルの向上のための新しい取り組みを企画し、プログラム化していきます。
2	放課後等デイサービス計画について保護者様への説明を丁寧に行っている	希望者の方に対して児童発達管理責任者と面談によるモニタリング、アセスメント面談日の追加調整を行っています。また、最終評価(モニタリング評価表)の作成と交付も実施しております。	家族支援加算や子育てサポート加算の周知と積極的な面談機会の調整をおこなっていきます。
3	ディグ・スマイルに来ることを楽しみにしている利用者が多い。	好きな遊びや興味のあることを教室内で深く取り上げることで満足度の高い活動をすることができ、毎日楽しみに通所していただいています。お子様が見てもわかりやすいイベントチラシの作成、掲示を行っています。	イベント内容を中心に、利用者様が立案した取り組みを実施できるように工夫して取り組んでまいります。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が少ない。	サービス提供時間中に保護者様向けのイベントを開催するための人員を教室単位で確保することが難しい一方で、就労している保護者様が多く、開催日時によっては参加者が限られてしまう可能性があります。	複数教室同時にオンラインで開催するなど、開催するための人員を確保したり、どこからでも参加できるように工夫していきます。
2	外部に開かれた教室運営を行う必要がある	外部の方に参加をしていただく取り組みが少なく、また、利用者様、保護者様によっては外部の方との交流を求めている場合があります。	活動報告を兼ねたお便りを作成し、保護者様だけでなく関係機関の方々にも配布することで、事業所の取り組みを周知していきます。利用者様、保護者様の個人情報に配慮した取り組みが実施できるよう内容を検討していきます。
3	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定されているが、保護者への周知・説明が十分ではないところがある。	事故防止や緊急時対応等に関するマニュアルの周知や確認が契約時のみになってしまい、教室で掲示している書類やファイルを保護者様が見る機会を作っていくことを今後の課題と考えています。	マニュアル内容や利用者負担額の変更があった場合にはその概要を送迎時に保護者様にお伝えできるように工夫していきます。